

評価時点 [令和5年(2023年)11月]
令和5年度(2023年度)事業分 公共事業事前評価調書

評価調書作成者 [道路整備課長 奥山 和弘]

事業プロフィール

【 事業概要 】

事業名	国道387号(須屋工区)(仮称)地域産業構造転換インフラ整備推進交付金(地域産業基盤整備推進交付金)事業
事業箇所	合志市須屋
事業担当課(室)	土木部 道路都市局 道路整備課 (国道班 内線 6113)
事業期間	令和5年度～令和12年度 (8年間)
総事業費	6,000百万円 (うち県費 3,564百万円)
事業内容	道路改良 延長0.8km、幅員26.0m
事業目的	本路線は、国道3号から中九州横断道路の西合志インターチェンジ(仮称)を経て、菊池市に向かう幹線道路で、セミコンテクノパーク周辺の基幹となる道路ネットワークに位置付けているが、須屋交差点から黒石地区付近にかけては、熊本市方面からの4車線から2車線に絞られるボトルネック箇所であることに加え、沿線住宅地から本路線にアクセスする車両が集中し、特に、朝夕の通勤時間帯に著しい渋滞が発生していることから、本事業にて早急に整備する必要がある。

【 現況写真 】



(現在の状況)

朝夕の通勤時間帯に著しい渋滞が発生している。

【 検討状況 】

技術的難易度	一般的な技術で対応できる。
費用便益比	B/C = 1.2
事業比較 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む) </div>	事業を行わない場合、当該区間においては慢性的な朝夕の渋滞が発生し、円滑な交通が確保できない。
ユニバーサルデザインへの配慮事項・内容	「熊本県の道路に関するユニバーサルデザイン指針」に基づき、地域の意見を反映させ、すべての人が利用しやすい道路とする。
関係法令等の手続きの把握・完了状況	道路法に基づく県公安委員会との調整が必要。 土壌汚染対策法に基づく届け出が必要。 都市計画法に基づく都市計画決定を予定。

【 周辺状況 】

関連事業	合志市事業
市町村、地元の状況	慢性的な交通渋滞の緩和及び、物流・観光とって地域産業を支援する路線として、その整備を強く要望されており、合志市よりより早期整備の要望を受けている。
説明会の開催状況と関係者の意向	今後実施予定。

【環境影響】

① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。	無
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

【 事業評価表 】

評価軸	評価項目	配点	評点
重要性	① 事業計画の位置付け	5	5
	② 市町村合併支援	5	0
	③ 道路ネットワーク上の位置付け	20	10
	小 計	30	15
必要性	④ 特定地域振興	5	0
	⑤ 産業活動関連道路	15	15
	⑥ 渋滞対策	5	5
	⑦ 救急医療機関等へのアクセス・災害への備え	5	5
	小 計	30	25
緊急性	⑧ 安全性の向上	15	10
	⑨ 連携する他事業	5	5
	小 計	20	15
効率性	⑩ 費用便益比(B/C)	20	12
	小 計	20	12
合 計		100	67